

事後評価では、交付期間が終了した時点で交付金の効果がどの程度表れているのかを把握して、市町村が事前評価（都市再生整備計画）において住民へ公約したまちづくりの目標の達成状況を検証することが重要である。

そこで、まず都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無を確認する。続いて、事業の「成果」として、事業の実施状況、都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況、都市再生整備計画に記載した数値目標以外の指標等による効果発現を評価・計測する。

### 添付様式 1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

- ◆事後評価を行うにあたり、都市再生整備計画に記載した目標（目標、目標を定量化する指標、目標値等）を当初計画から変更したかどうかを確認する。

【記入例】 添付様式 1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		a. 観光入込客数の目標値：63,000人／年 (H22)	a. 観光入込客数の目標値：66,000人／ 年(H22) (+3,000人／年)	隣接地区を含め観光客の回遊性を高めるために、追加で〇〇線歩道拡幅を行った。隣接地区には2年前に口口物産館が開館しており、それにより当該地区に3,000人／年の観光入込客数増が見込める。よって目標値を上方修正した。
D. その他( )		●			

①

②

③

④

- ① 目標の変更の有無・・・都市再生整備計画に記載した目標を変更したかどうか、その有無を、「A. まちづくりの目標」、「B. 目標を定量化する指標」、「C. 目標値」、「D. その他」のそれぞれについて確認し、記入する。
- ② 変更前・・・変更があった項目について、変更前の記載内容を記入する。
- ③ 変更後・・・変更があった項目について、変更後の記載内容を記入する。
- ④ 変更理由・・・目標を変更した理由を、事業内容の変更等との関連を踏まえ具体的に記入する。

## 添付様式 1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（完成状況）

- ◆都市再生整備計画に記載した事業（交付対象事業・関連事業）の実施状況を確認する（予算の執行状況や変更状況、施設の完成状況等）。

### a. 交付対象事業の実施状況

交付対象事業（基幹事業・提案事業）が、事後評価の時点で最終変更計画どおりに実施されたか（あるいは、交付終了年度末までに実施される見込みか）を確認する。さらに、事業費等が当初計画からどの程度変更されたか、目標の変更との関係があるかを確認する。

なお、本記入欄は、変更の有無にかかわらず、すべての事業について記入するものとする。

---

### 【補足・留意事項】

- ・ 次ページの「基幹事業」及び「提案事業」の記入例では、基幹事業の一部の事業について記入例を示したものであるが、実際の事後評価では、すべての事業について所要の事項を記入する必要がある